



2024年12月20日

各 位

会 社 名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二
(コード：3113 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介
(TEL. 03-6682-9884)

株式会社ユニヴァ・マグナムによるドイツ企業との垂直設置型太陽光設備事業にかかわる 基本合意に関するお知らせ

次世代蓄電池等の開発、製造・販売等、再生可能エネルギー事業を手掛ける当社連結子会社・株式会社ユニヴァ・マグナム（本社：東京都港区、以下「UMG社」といいます。）は、この度、ドイツの垂直設置型太陽光発電の先駆けであるNext2Sun AG（以下「Next2Sun社」といいます。）及びその本邦子会社であるSuichoku Solar株式会社（以下「Suichoku Solar社」といいます。）との間で、北海道内における農耕地での建設にも適した垂直設置型太陽光発電システムの普及（以下「本事業」といいます。）に関して相互に協力して推進していく旨の基本合意（以下「本基本合意」といいます。）に至りましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 本基本合意に至った経緯、目的

先日経済産業省より示された新しいエネルギー基本計画の原案に拠れば、再生可能エネルギーの導入をさらに拡大し、電力供給の4～5割程度を太陽光発電を含む再生可能エネルギーで賄うことが企図されております。そして太陽光発電は、環境負荷が少なく設置場所の自由度が高い等の理由から、持続可能な未来を実現する大きな鍵となる電力源であることは言うまでもありません。

斯かる方針を受けて、再生可能エネルギー由来電力の旺盛な需要が期待される北海道においても官民連携しての太陽光発電事業への取組みが高まっておりますが、積雪地帯を多く抱える地域事情と今後見込まれるさらなる電力需要を踏まえ、従来の野立て型ソーラーパネルに代わる垂直型ソーラーパネルに対する期待が大いに高まっております（※）。

（※）垂直型ソーラーパネルは、従来の野立て型ソーラーパネルと比して、①降雪による損壊の懸念が払拭されること、②雪に覆われないことから、冬季において雪の反射（アルベド効果）もあり安定的な発電が可能なこと（従来型と比して1.2～1.3倍の発電量が見込まれます）、③小規模スペースにおいても設置が可能であること、④両面パネルを実現することにより電力需要の多い朝・夕においても発電が可能であること、など画期的なメリットと優位性を有しております。

斯かる状況を踏まえ、昨年よりUNIVA CAPITALグループにおいてエネルギー事業を担っている株式会社ユニヴァ・ジャパン（本社：東京都港区、代表者：姥谷芳昭、以下「UJP社」といいます。）と北海道を中心として太陽光発電事業の全国展開を図ってきた当社連結子会社・株式会社ノースエナジー（本社：北海道札幌市、代表者：小坂榮成、以下「ノースエナジー社」といいます。）は、協働して北海道幌加内町において垂直型ソーラーパネルにかかわる実証実験を進め今後の実用化に向けての素地を構築し、現在ニセコ町を始めとする3件の建設について受注済（内、2件は着工済）であります。そして、今後さらなる展開が見込まれる状況の中、今後UMG社は、UJP社とノースエ

ナジー社の斯かる知見を継承し、垂直設置型太陽光発電事業を推進してまいります。

本基本合意は上記の流れを汲むものであり、本合意に基づき、当社グループのUMG社の太陽光発電事業にかかわる地域特性を踏まえた専門的な知識及び経験、ドイツの垂直設置型太陽光発電の先駆的存在であるNext2Sun社の革新的な技術、そしてその本邦子会社であるSuichoku Solar社の我が国における太陽光発電事業の豊富な実績を結集して本事業に戦略的に参入することは、積雪地帯を多く抱える北海道において垂直型ソーラーパネルの優位性が最大限発揮され再生可能エネルギーの普及に大きく貢献するものであり、また将来的な当社グループの再生可能エネルギー事業分野において大きな収益寄与が期待されます。

なお、2024年6月21日付「株式会社ノースエナジーによる実用型垂直型両面太陽光設備事業の事業化に向けた企画、並びに本事業のジェットロによる事業費補助金採択に関するお知らせ」において公表しておりますとおり、当社グループとNext2Sun社及びSuichoku Solar社とは、ノースエナジー社が手掛けた実用型垂直型太陽光設備事業を通じて、既に友好的な事業パートナーとしての関係を構築しております。

2. 本基本合意の内容

UMG社、Next2Sun社及びSuichoku Solar社は、2026年までに北海道において100メガワットの各種営農型垂直型太陽光発電システムの建設・事業開始を目指してまいります。

3. UMG社、Next2Sun社及びSuichoku Solar社の概要

商号	株式会社ユニヴァ・マグナム	Next2Sun AG	Suichoku Solar株式会社
主な事業内容	蓄電池等の開発、製造・販売	営農、住宅、空港向け垂直ソーラーの製造・施工・販売	垂直ソーラーパネルの施工・販売
設立年月	2024年5月	2015年3月	2023年6月
本社所在地	東京都港区虎ノ門一丁目3番1号	Franz-Meguïn-Str. 10a 66763 Dillingen Germany	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目12番12号
代表者	宗雪敏明	CEO Heiko Hildebrandt	リーブシャー ウーヴェ
資本金	900万円	€140,863	1000万円
決算期	3月	12月	5月
直近期売上高	—	当事者からの要請により非開示とさせていただきます。	当事者からの要請により非開示とさせていただきます。

4. 本件を踏まえた当社グループの今後の事業展開と見通し

2030年のCO₂50%削減や2050年カーボンニュートラルの実現といった脱炭素社会への変革の動きの中で、当社グループの再生可能エネルギー事業の位置づけは当社グループのサステナブル経営を支える観点から一層増していくものと考えております。

そして斯かる状況下、今回の本事業は、当社グループの価値増大に向けて大きな後押しになり、また積雪地域での再生可能エネルギー普及に大きく寄与するものと考えております。

UMG社は、2025年1月に商号を「株式会社ユニヴァ・エナジー」に変更する予定であり、ノースエナジー社と並び、当社グループの再生可能エネルギー事業を担う中核子会社として、北海道において太陽光発電に限らず様々な可能性に挑戦してカーボンフリーな社会の実現に貢献してまいります。そして当社は、引き続きUMG社の企業価値増大に向けて強力に支援してまいります。

5. 今後の見通し

本件による2025年3月期の連結業績への影響については軽微と見込んでおりますが、中長期的には当社グループの業績向上に資するものと考えております。

以上